

+++++
I G B P 国際シンポジウム

I H O P E A S I A N W O R K S H O P

『地球と人類の未来 - アジアから考える』の開催（ご案内）

公開講演会

「環境学のフロンティア：脱温暖化社会へのシナリオ」の開催（ご案内）
+++++

I G B P 国際シンポジウム

I H O P E A S I A N W O R K S H O P

『地球と人類の未来 - アジアから考える』

日 時 3月24日(土)～26日(月)(3日間)

会 場 ホテルサンルーラル大湯（秋田県南秋田郡）

主 催 日本学術会議・秋田県・国際日本文化研究センター
I G B P ・ A I M E S ・ I H O P E

プログラム

3月24日(土)

公開セッション1 『目潟の年縞が語る地球の過去・現在・未来』

公開セッション2 『年縞が語る文明崩壊と環境変動』

3月25日(日)

公開セッション3 『アジアの伝統文化の弾力性と持続性』

公開セッション4 『地域の伝統文化と地域資源のワイズユース
：秋田から世界の未来を考える』

3月26日(月)

公開セッション5 『地球環境とアジアの未来』

公開セッション6 『持続型文明社会に向かって』

本講演会に関する詳細情報は、下記HPに掲載されています。

[秋田県_HP]

<http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?>

【参加申込、問い合わせ先】

秋田県総務企画部総合政策課 企画・政策班

TEL : 018-860-1214, FAX : 018-860-3873

E-mail : seisaku@pref.akita.lg.jp

公開講演会

「環境学のフロンティア：脱温暖化社会へのシナリオ」の開催（ご案内）

日 時 3月28日（水）13：00～17：30

場 所 名古屋市鯉城(こじょう)ホール（名古屋市中区栄1-23-13）

主 催 日本学会議、名古屋市 / なごや環境大学連携講座

定 員 700人

主旨

アメリカ元副大統領アル・ゴア氏の『不都合な真実』の映画と本が話題になっています。この本の中で『サイエンス』誌編集長ドナルド・ケネディ氏の引用があります。

「科学において、この件に関する意見ほど皆の見解が一致することはまれである。」まさしく地球の温暖化だけは疑いのない事実だということです。

私たちの社会はいま100年というスケールで取り組まなければならない問題に直面しています。その第一が、地球温暖化への取り組みであり、脱温暖化社会へのシナリオとヴィジョンを示すことです。地球が数億年をかけて蓄積してきた化石燃料資源の有限性の認識、温室効果による環境の変化、代替エネルギーへの転換等は、必然的に人々の生活スタイルを変え、都市・地域構造そのものの転換が促されなければなりません。

この公開講演会では、第一部で複雑な地球環境問題とは何かについて、まず、わかりやすく、その本質を把握する視座について学びます。これを踏まえて第二部、環境対策の第一線で活躍する研究者、行政、企業、NPOの皆さんに、自らの取り組みと展望について御報告いただきます。第三部では、これらの様ざまの問題解決へのアプローチのポテンシャルと制約について論議し、脱温暖化社会へのシナリオを描き「行動する環境学とは何か」を皆さんと共に考えてみたいと思います。

多様な議論が錯綜し、わかりにくくなっている地球温暖化問題を解きほ

ぐし、果敢に取り組んでいるチャレンジャーからのメッセージを共有し、明日の地球を考えたいと思います。

プログラム

(13:00) 開会・進行

石川幹子(慶應義塾大学環境情報学部教授、日本学術会議第三部会員)

(13:05~13:30)

第一部 問題提起

「名古屋市長からのメッセージ」 松原武久(名古屋市長)

「地球温暖化の予測と脱温暖化社会形成の必要性」

花木啓祐(東京大学工学系研究科教授、日本学術会議連携会員)

(13:30~15:50)

第二部 脱温暖化社会へのチャレンジ

「デジタルアースと地球温暖化問題 科学コミュニケーションのプラットフォーム」

福井弘道(慶應義塾大学総合政策学部教授、日本学術会議連携会員)

「森林による二酸化炭素の固定」

田中和博(京都府立大学大学院農学研究科教授、日本学術会議連携会員)

「農業からのゼロエミッション社会 エネルギーの地産地消」

牧 恒雄(東京農業大学地域環境科学部教授)

「エネルギー需要における原子力エネルギーの比重 その現状と将来」

田中治邦(電気事業連合会原子力部長)

「地中貯留技術による二酸化炭素の削減」

村井重夫((財)地球環境産業技術研究機構(RITE)主席研究員)

「地球温暖化対策と税財政のグリーン改革」

寺西俊一(一橋大学大学院経済学研究科教授、日本学術会議連携会員)

「自然と共生する流域圏と都市再生 水循環からのまちづくり」

吉川勝秀(日本大学理工学部社会交通工学科教授、日本学術会議連携会員)

(15:50~16:05)

休憩

(16:05~17:25)

第三部 パネルディスカッション「脱温暖化社会へのシナリオ」

コーディネーター：進士五十八(東京農業大学地域環境科学部教授、
日本学術会議第三部会員、環境学委員会委員長)

パネリスト：花木啓祐、福井弘道、田中和博、牧 恒雄、田中治邦、
村井重夫、寺西俊一、吉川勝秀

(17:25~17:30) 閉会

今中忠行(京都大学大学院工学研究科教授、日本学術会議第三部会員)

本講演会に関する情報は、下記HPに掲載されています。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf/30-k-1.pdf>

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL:03-3403-1906 FAX:03-3403-6224

E-mail : info@scj.go.jp

URL:<http://www.scj.go.jp>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、事務局（p228@scj.go.jp）まで御一報いただければ幸いです。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34